

2022年5月31日

お客様各位

株式会社 東洋信号通信社  
ポートデータ・インフォメーション

### Shipfinder.com チャート更新作業完了につきまして

【このお知らせの対象となるお客様】

Shipfinder チャートスタンダード/エンタープライズ/ガバメントをご契約中のお客様

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

お客様におかれましては日頃より弊社 Shipfinder.com（以下「Shipfinder」）をご利用いただき、誠にありがとうございます。

さて、5月24日付の弊社発文章「Shipfinder.com チャート更新作業予定のご案内(5/31)」にてお知らせした Shipfinder チャート（海図）データの更新作業につきましては、予定通り5月31日に完了致しました。更新作業中にご協力を賜り、誠にありがとうございました。

尚、お客様の Shipfinder ご利用環境によりましては、お客様側のブラウザに保存されたキャッシュデータの関係で古いチャートデータが表示される可能性がございます。お手数ですが下表の手順にて、Shipfinder 閲覧の際に1度、ブラウザの強制読み込み操作を実施いただきますよう、お願い申し上げます。

表) 各社ブラウザの強制読み込み方法

閲覧ブラウザ	強制読み込み
Chrome	キーボード[Shift] + [F5]キー
Edge	キーボード[Shift] + [F5]キー
Firefox	キーボード[Ctrl] + [F5]キー

また既報の通り、今回の更新より Shipfinder のチャートデータおよび提供機能の仕様が変更されておりますので、下記の通りご案内申し上げます。

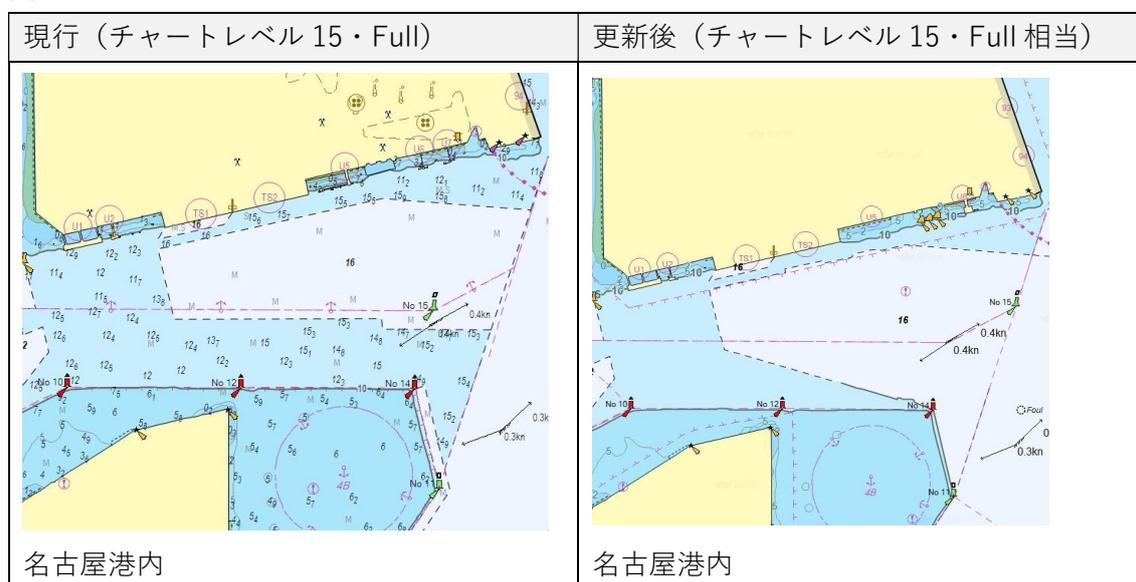
今後とも Shipfinder をご利用いただきますよう、お願い申し上げます。

## 1. チャート仕様の変更

### ①日本沿岸海域における水深点情報の掲載中止

Shipfinder では C-MAP 社（ノルウェー）の発行する、ウェブでのオンライン公開が可能な非公式電子海図製品を採用しておりますが、日本沿岸の海図データを管轄する海上保安部様からの要請により、同社が発行する非公式電子海図製品に関しては、一部の例外を除き、現在、日本沿岸の水深点情報の掲載を廃止しております。このため、今回のチャート更新以降、Shipfinder では日本沿岸海域の水深点情報が全て削除されています。（図1）

図1：



### ②チャート切り替え仕様の変更

チャート上のオブジェクト（各種標識や航路等）表示詳細度の切り替えとテキスト表示（地名等）の言語切り替え機能については図2、図3の通り変更されました。

図2：Shipfinder の表示詳細度・言語切り替えメニュー（新旧比較）



図3：チャート切り替え機能の仕様変更

	現行版仕様	次回更新以降の仕様
オブジェクト 表示詳細度切り替え	・ Base (基本) ・ Standard (標準) ・ Full (詳細)	・ Standard (標準) ・ Full (詳細)
言語切り替え	・ English (英語) ・ National (現地言語)	・ English (英語) に統一※

※中国長江流域についてはチャートデータの都合により一部現地言語での提供となります。

## 2. ご対応窓口

このお知らせに関するお問い合わせにつきましては次の窓口までお願い致します。

株式会社 東洋信号通信社

ポートデータ・インフォメーション

営業時間：平日 9時～17時

電話番号：045-510-2342

e-mail：[webmaster@toyoshingo.co.jp](mailto:webmaster@toyoshingo.co.jp)

以上